

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇番) 印刷所 東京毎日印刷所



刊夕日四十月一

定価 一部金貳拾五圓 月金貳拾五圓 半年金壹百二十圓 一年金貳百二十圓 郵費別 發行所 警常新聞社 電話六三〇番

常 警 論 壇 知識階級の無氣力 太田秀穂 (八) 昔孔子は古の學者は「己の爲めにし今の學者は人の爲めにす」と述べられしが今日の學徒は己の根柢を造らんよりも他に見せしめんが爲めに名目を得んが爲に單に科程を修むるものあり予の見るところによれば今日は無學の弊と同様に多學の弊あり。

第二に學校教育はあまりに商賣風となり終れり、學校と云へば書物を習ふところ講義を筆記するところ定期的試験を受くるところとなり果てたり。斯かるところに確定的學風の存立を望み得べからず、感化の乏きこと固より當然なり。徳育に力を用ゐる餘裕もなく希望もなし偶々徳育に力を注ぐものは主として消極的の道徳を勸奨するのみ。操行優良者なるものは温和にして教師の氣心を呑込み偏へに服従を旨とする者なれども此種の少年將來果してよく人生の難局を負擔し得べきや否や。更に教師側につきて論ずれば生存競争上止むを得ずと云ひながら監督者の都合のみを本位とするか若くは之と反對に生徒若しくはその父兄の感情のみを本位とし生徒永遠の幸福を顧慮するが如きことなし。何れにしても教育權の基礎乏しく常に外部より動かされ易きことは今日の事實なり。

外科 赤心堂病院 田町 電話四七五番

正札堂 期節向既製品は定評ある...

共濟病院 内科 外科 皮膚泌尿科

會田時計店 平町四丁目 電話三六三番

磐城病院 内科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科。

南部鐵瓶店 贈答ノ御用命ハ 特ニ勉強致シマス

古 標商錄登

イウキ食器 美味評判

印半天專門 優秀品の証明 草野染工場

醬油 味噌 鰹節 罐詰食品 鹽屋山崎合名會社

科外 門專 上田外科醫院

冬物荷揃特價大賣出し 耳鼻咽喉科專門 山家メリヤス店

平銀行角の通行人 一分間に二十人餘

町役場で交通調査執行

その頻繁に驚く

平町役場では十三日午前八時から九時迄の二時間に、通り目録の場所、吏員を派して交通の調査をなした。

最も頻繁

なのは二丁目平銀行角で一千二百三十一人の多きに達してゐる。之を一分間平均に見れば二十人五と云ふ割合で少い處でも五百名を下らぬと云ふ頻繁さに係員も驚いてゐたが尙同役場では

近日中に

車馬の統計もとる筈で係員も斯うした数字は郡山や福島でも見られまいと語つてゐた。

牛馬豚

平で食つた數

昨年十二月中に平屠殺場で屠畜した數は牛二十頭、馬六十七頭、豚百三十七頭、合計二百二十二頭だつたが前年同期より減少してゐる。

騒ぐ坑夫

入山採炭にて

石城郡湯本村入山採炭會社の共済會積立金に不當の支出ありと騒ぎ立て書記に對し暴行を働いた坑夫酒寄

三個を懷中

ダイナマイト

重大犯人の見込

宮城縣伊具郡生れ住所不定大茂源太郎(三)は十二日夜ダイナマイト三個を懷中に植田町地内をはいくわい中植田署に引致重大犯人の見込で取調中。

爆薬で鰻を

漁獲した外

靴一足盗む

石城郡内郷村字高坂警城炭坑坑夫矢内米藏(三)は坑内からダイナマイト二個を盗み出さる十日石城郡上遠野村地内さめ川でうなぎ一貫餘を漁獲し十二日平署に引致取調の結果右の外去る九日石川町高田亭から靴二足(三十二圓)外數ヶ所を盗盗を働いたとを自白した。

平署管内變死者

半年に七十八名

平署は犯罪件數の多いのと事故の多いのでは縣下各署中第一であるが、變死人もまた非常に多く昨年七月から十二月迄の變死人の數を見ると男が六十名、女が十

八名合計七十八名であつた之を變死別に見ると轢死九、壓死九、溺死九が多い方で轢死と壓死は炭礦の事故が原因であり、溺死は海岸に於て誤つて海にさら

鐵道への石炭納入

炭價引上げか

食逃げ男の乗逃げ損ね

陪審法の講演

鐵道省の明年度石炭購入契約は常磐の五大炭礦に對してもポツ／＼内交渉開始された模様であるが本年度の契約高は、警城廿八萬トン、入山十七萬トン、を初めその他約百萬トンで價格は平均警城が九圓廿錢入山九圓五十錢であつたがもともとこれは前年度より不況の影響を受け一トン當り廿錢乃至卅錢値下契約を餘儀なくされたものであり

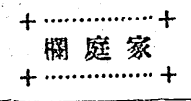
發電用の

石炭需要が近來めつきり増加した折柄鐵道納炭契約も明年度には當然一トン當り卅錢以上引上げられる見込みで各炭礦とも收支決算に多大の影響あるため多大の期待をかけ成行きを注視してゐる。



人造絹糸のアルコール洗濯

レヨン(人造絹糸)交織の應用は近來非常に盛んになりましたが、その洗濯法は



家庭用

次の様にすれば最も安全であります。

一、最初に水一升につきアルコール大サジ(ライスカラー用)一杯、日本酒ならばさかづきに二杯の割に混合した中に用布を浸します。

二、それから石鹼で洗ひますとどんなにこすつても切れることはありません。

所々長福田一角氏の「陪審法に就いて」と題する講演がある。

井戸へブチ

うつぶん晴し

石城郡錦村長岡小宅惣三方居宅飲料井戸に七日夕刻糞便約一斗を投じたものがあさり、家人が夕食の仕度をなさうと水を汲んでこの事を発見、植田署に届けたので植田署では極力犯人嚴探

募集

文藝其他投稿を募集します

中であつたが右は同村の小宅時男(三)が日頃の鬱憤をばらさんとして所爲と判明十三日植田署に檢舉され取調の上送検された。

豊間其他火災

石城郡豊間村大字豊間字八幡町鈴木亥之助方より十三日午後八時頃發火し一棟を焼いて鎮火同日午前零時十五分頃同郡湯本町字山神農鈴木才太郎方も爐火の不始末から二棟を焼いた。

三、洗ひ上げる時水一升到サク酸一二滴落とし、それにアルコール少量を入れた水に通すと光澤を出します。

▲卵のカラの使途 鍋類の底に魚や野菜のこげついで時玉子のカラを割りそれですればちぎとれます。

カラは古くても差つかへありません。

模範的の火防線

赤井の組合で

石城郡赤井村大字赤井共有林の山林組合にては昨年殖林した約十五町歩の山林に模範火防線を設けべく去る十二三の兩日千葉技手指揮の下に各戸一名宛出動し巾五尺、高さ五尺の火防線を設置した。

蠶業功勞者表彰

石城郡山田村木内源太郎氏は蠶業界の舊式不合理なるを嘆じ私材を投じて鋭意之れが改善に勉め昨年秋同村養蠶組合を組織し指導向上を計

御大葬後に

若衆連情氣

平町地方各農村は目下舊年未だ相當してゐるので常なら正月を迎へる準備にいそがしく仕入れに仕度に相當活氣を呈するのであるが本年は諒闇中とて大きな聲さへたてるものなくつ、つましやかに迎年の準備中である。

平町人事

▲出生
△久保町二八 鈴木子之次郎氏五男 正衛
▲死亡
△材木町三五 細田絹子(一七)
△新川町二九 柏原マツ子(五つ)

酒持寄研究会

石城郡釀友及び杜氏兩組合では来る十五日午前十時から平町酒母等持寄り研究会を開く。

他人の難を救つた人々

表彰方を具申

昨年の七月から十二月まで半ヶ年の間平署管内に於て警察官以外の人民で他人が危険な状態にあるのを救護したのを調査して見ると窃盗、スリにかゝる處を救つたのが三件、殺人をすくつたのが三件、傷害を受け病氣で倒れてゐるものをすくつたのが八件、災害にかゝつた際すくつたのが二十九件、迷兒が七件、であつた同署では何れも救護した者に對し警察の仕事に懲援し同時に他人を救助したもの

平稅務署管内稅法違反件數

平稅務署管内に於ける大正十五年中の各種稅法違反件數は七百五十四件の多きに達しこのうち處分された者は百六十名罰金總費二千九百九十八圓九十錢でその細別は左の如くである。

- △印紙稅法違反七四四件
- △人員五十名△清涼飲料水法違反一件人員一名△骨牌法違反二件人員二名△織物消費稅法違反七名